

- ・本年5月の第185回より、対面のみ形式によって弊会の運営が進んでいます。
- ・定員は対面100名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。1社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。
個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。
- ・土木学会のCPDプログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。
なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。
- ・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

※会場がいつもと異なりますのでご注意ください。

- (1) キャンパス内は完全禁煙です。
- (2) 構内のご入構に際しましては、国道208号線(南部バイパス)よりご進入いただき最初の交差点を左折。ゲートにて入構券をご落掌の上、ご入構ください。ご出構の際に200円の支払いが求められます。ゲートにおいて領収書の取得が可能です。ご出構の際は左記の南部バイパス方面、または佐賀大学西門(佐賀市営バス停「佐大西」)方面に向けてご出構が可能です。

令和5年9月1日

各 位

軟弱地盤研究会(第188回)のご案内

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和5年9月28日(木) 14時～16時(1時間講演、1時間質疑応答、休憩なし)

場 所：佐賀大学本庄キャンパス 理工学部6号館DC棟2階多目的セミナー室

<https://www.saga-u.ac.jp/gaiyo1/campusmap/>

(※マップ中 ピンク○29番建物の2階です)

話 題：ジオポリマー改良杭工法を用いた老朽ため池堤体刃金土の改修法について

講演者：佐賀大学名誉教授 甲本 達也 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

全国に約15万個あるというため池は大半が老朽化したため池であるという。これらの老朽ため池は近年の全国にまたがる激しい降雨災害や頻発する地震により堤体崩壊を引き起こしたり危機的な状況に陥っている。改修が急がれる老朽ため池も改修には従来の土堰堤施工法が用いられているため工費と工期がかかる。また最近では環境保護の観点からの刃金土の用土の確保が困難になってきている。本講演では最近研究の進んでいるフライアッシュやスラグなどの産業副産物をジオポリマー材料として利用し、地盤改良杭工法との組み合わせによるジオポリマー改良杭工法を用いて老朽ため池堤体刃金土を改修する工法を紹介する。

※参加希望の方は9/21(木)・12:00までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

※参加証明書が必要な方は申し込みの際にその旨をご連絡ください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聡容(Kirekawa Toshihiro)

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田912番地 (公財) 佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603